

## 平成 27 年度胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の状況について

平成 28 年 8 月  
北海道胆振総合振興局

### 【概要】

平成 27 年度の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は、前年度（780,573 人）と比べて 193,761 人増加し、974,334 人（前年度比 124.8%）となりました。

これは、訪日外国人宿泊者数の発表を開始した平成 10 年度以降で、過去最高を更新しています。

中国（前年度比 135.9%）、韓国（前年度比 150.1%）をはじめとするアジア諸国からの宿泊客数は順調な伸びを見せているほか、ヨーロッパや北米等の国からの宿泊者数も増加しています。

主な要因としては、円安傾向による訪日旅行の割安感の浸透や LCC の新規就航、免税制度の拡張及びビザ発給要件の緩和等が考えられますが、特に平成 27 年 1 月に実施された中国向けのビザ発給要件の緩和は、中国人旅行者の増加に大きく影響しているものと考えられます。

### （上期）

上期の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は 419,222 人で、前年度同期（337,806 人）と比べて 81,416 人の増加（前年度同期比 124.1%）となりました。

### （下期）

下期の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は 555,112 人で、前年度同期（442,767 人）と比べて 112,345 人の増加（前年度同期比 125.4%）となりました。

### 【圏域・国別の状況】

訪日外国人宿泊者数（延べ数）を国・地域別に見ると、台湾が 354,283 人で最も多く、訪日外国人宿泊者数（延べ数）の 36.4%を占めています。次いで中国（231,324 人）、韓国（162,134 人）、香港（74,604 人）、タイ（43,001 人）となっています。

上位 5 か国はすべてアジア圏の国で占められており、その他シンガポール（31,915 人）、マレーシア（26,553 人）、インドネシア（5,454 人）、フィリピン（2,113 人）ベトナム（688 人）、インド（380 人）を含めたアジアからの観光客が、訪日外国人宿泊者数（延べ数）全体のおよそ 96%を占めています。

また、平成 27 年度は、ロシア（前年度比 149.0%）、アメリカ（前年度比 144.4%）をはじめとするアジア諸国以外の国においても、宿泊者数の増加が見られました。

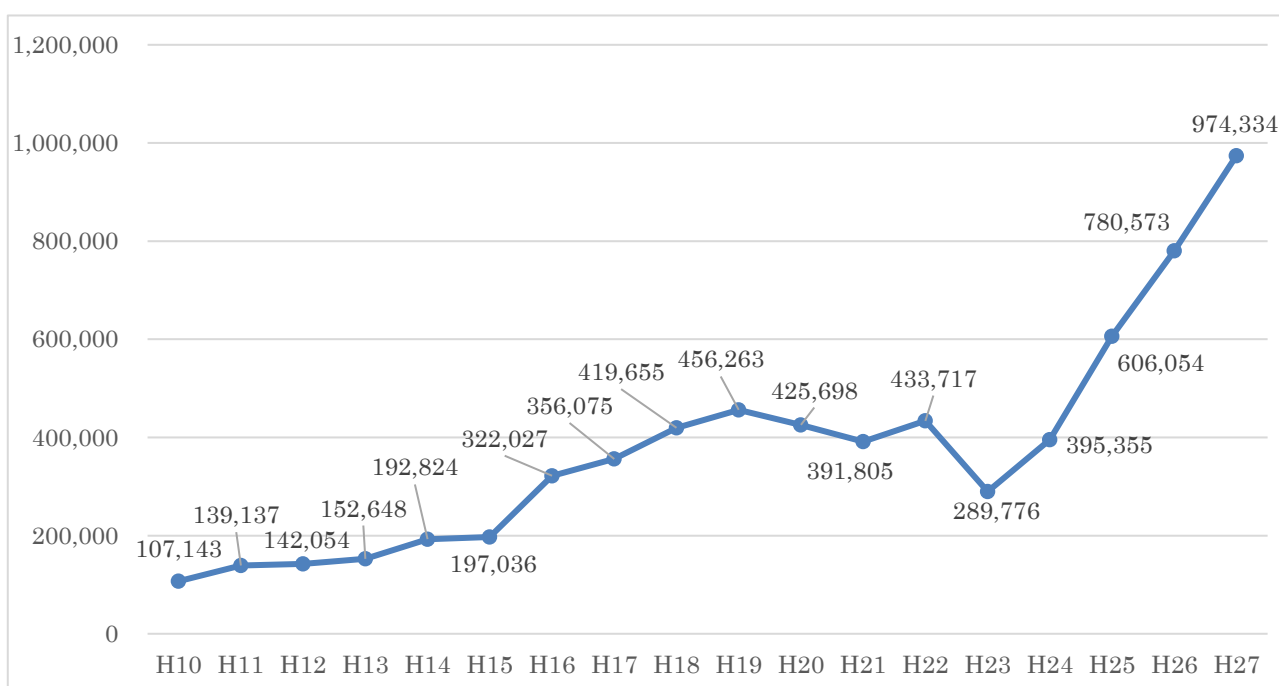
【参考 1】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）内訳

（単位：人、％）

順位	国・地域	平成 27 年度宿泊者数(延べ数)		対前年度比	前年度からの増減数
			構成比		
1	台湾	354,283	36.4	110.8	34,541
2	中国	231,324	23.7	135.9	61,068
3	韓国	162,134	16.6	150.1	54,102
4	香港	74,604	7.7	124.0	14,445
5	タイ	43,001	4.4	101.1	469
	その他	108,988	11.2	136.5	29,136
	合計	974,334	100.0	780,573	193,761

【参考 2】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移（H10 年度～）

（単位：人）



【参考 3】胆振管内訪日外国人宿泊延べ数 国・地域別の推移

（単位：人）

